

藤田医科大学 IR 活動の 2022 年度計画

藤田医科大学 IR 推進センター

2022 年 3 月 1 日

1. はじめに

藤田医科大学 IR 推進センター（以下、IR 推進センター）は、藤田医科大学（以下、本学）の教育の質の保証と向上を図るため、学内外の多様なデータを収集し、本学の教育及び学生支援に関する諸データの統合分析と情報提供等を行い、本学の教育活動の充実、発展への寄与を目指している。IR 推進センターによる学習時間・教育の成果等に係る情報の収集・分析・報告を以下、IR 活動と呼ぶ。

IR 推進センターには医学部 IR 分室、医療科学部 IR 分室と保健衛生学部 IR 分室（以下、学部 IR 分室）が設置されている。基本的な役割として、IR 推進センターが IR 活動の方針と計画を定め、その方針と計画に沿って、学部 IR 分室が学部の IR 活動を実施し、また、IR 推進センターがその支援と調整を行う。

以下、IR 活動の 2022 年度計画について、IR 推進センターの計画（医学部、医療科学部と保健衛生学部の計画を除く）、医学部の計画、医療科学部の計画と保健衛生学部の計画を示す。

2. IR 推進センターの計画

IR 推進センターの IR 活動の計画（医学部、医療科学部と保健衛生学部の IR 活動の計画を除く）について、主な事項は次の通りである。

- ・「授業科目別達成度自己評価平均値集計表」と「学生による授業評価の集計結果」の課題について、必要に応じて分析を行い、10 月末に資料を作成・公表する（表 2）。
- ・「国家試験または認定試験の合格者数及び合格率」と「就職率」の課題について、年次推移を観察し、必要に応じて分析を行う（表 2）。
- ・「学生生活・学修実態調査」の学部 IR 分室の 2022 年度実施計画を支援・調整する。調査目的、調査対象、調査内容と実施方法は 2021 年度調査に準ずるものとする。
- ・遠隔授業に関する調査と分析を継続し、必要に応じて調査を実施する。
- ・「IR 活動のパンフレット」は 2022 年度版の周知を図り、その改善を検討した上で 2023 年版を作成する（表 2）。
- ・IR 推進センターホームページを有効に運用する。
- ・IR 活動の 2022 年度の実施状況について、IR 活動の方針（表 1）と 2022 年度計画から点検し、必要に応じて IR 活動の方針を見直し、2023 年度計画を策定する。

3. 医学部の計画

医学部の IR 活動の計画について、主な事項は次の通りである。

- ・「卒業生を対象とした卒業コンピテンス・コンピテンシー到達度調査」について、

2021 年度卒業生ならびに卒業生の初期研修先病院を対象として実施する。調査は卒業生に対しては 2 月に自己評価により実施し、就職先研修病院に対しては 6～8 月に行う。調査結果の分析を行い、卒業生を対象とした調査は 4 月末、初期研修先病院を対象とした調査は 9 月末までに報告書を作成する（表 3）。

- ・「卒業生を対象とした卒業後アンケート」の課題について、2021 年度卒業生を対象として、本学在学時の教育内容・施設設備の満足度を振り返る調査を 6～8 月に行い、9 月末までに報告書を作成する（表 3）。
- ・「学生生活・学修実態調査」を全学生と教員を対象として 10 月に実施し、データ分析を行い、12 月末までに報告書を作成する（表 3）。
- ・「入学前学生の特性の分析」の課題について、学務課・庶務課、および、広報部が 2022 年度入学生を対象として実施するアンケート調査を収集し、入学の理由などについてまとめた報告を 12 月末までに行う（表 3）。
- ・「入試区分別成績分布および進級率等の分析」の課題について、2011 年入学以降の全学生を対象として、入試区分・成績と学内成績・留年・休学・退学・国家試験結果の関連に関する分析を行い、12 月末までに報告書を作成する（表 3）。
- ・遠隔授業に関する調査と分析について、必要に応じて協力する。
- ・IR 活動の 2022 年度の実施状況について、IR 活動の方針（表 1）と 2022 年度計画から点検し、必要に応じて IR 活動の方針を見直し、2023 年度計画を策定する。

4. 医療科学部の計画

医療科学部の IR 活動の計画について、主な事項は次の通りである。

- ・「卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査」の課題について、2021 年度卒業生（学生自己評価）ならびに卒業生の就職先を対象として実施する。調査は卒業生に対しては 1～2 月、就職先に対しては 7～9 月に行う。調査結果の分析を行い、卒業生を対象とした調査は 5 月末、就職先を対象とした調査は 12 月末までに報告書を作成する（表 4）。
- ・「卒業生を対象とした動向追跡調査分析」の課題について、2018 年度入学生を対象として、入学時からの留年・休学・退学、成績、欠席等の動向について調査・分析を行い、8 月末までに報告書を作成する（表 4）。
- ・「卒業生を対象とした卒業後アンケート」の課題について、2021 年度卒業生を対象として、教育内容・施設設備の満足度、就職先の満足度の調査・分析を行い、9 月末までに報告書を作成する（表 4）。
- ・「全学生を対象とした GPA、成績分布状況及び進級率の分析」の課題について、前年度の全学生を対象として、GPA、成績分布、進級率に関する調査・分析を行い、

9月末までに報告書を作成する（表4）。

- ・「学生生活・学修実態調査」を1～4年の全学生と教員を対象に10月より調査・分析を行い、11月末までに報告書を作成する（表4）。
- ・「入学前学生の特性の分析」の課題について、広報部が2022年度入学生を対象として実施するアンケート調査の一部を利用し、入学の理由などについて調査・分析を行い、11月末までに報告書を作成する（表4）。
- ・「入学生の入試種別と1年前期試験結果の分析」の課題について、2022年度入学生を対象に調査・分析を実施し、11月末までに報告書を作成する（表4）。
- ・遠隔授業に関する調査と分析について、必要に応じて協力する。
- ・IR活動の2022年度の実施状況について、IR活動の方針（表1）と2022年度計画から点検し、必要に応じてIR活動の方針を見直し、2023年度計画を策定する。

5. 保健衛生学部の計画

保健衛生学部のIR活動の計画について、主な事項は次の通りである。

- ・「卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査」の課題について、2021年度卒業生（学生自己評価）ならびに卒業生の就職先を対象として実施する。調査は卒業生に対しては1～2月、就職先に対しては7～9月に行う。調査結果の分析を行い、卒業生を対象とした調査は5月末、就職先を対象とした調査は12月末までに報告書を作成する（表5）。
- ・「卒業生を対象とした動向追跡調査分析」の課題について、2018年度入学生を対象として、入学時からの留年・休学・退学、成績、欠席等の動向について調査・分析を行い、8月末までに報告書を作成する（表5）。
- ・「卒業生を対象とした卒業後アンケート」の課題について、2021年度卒業生を対象として、教育内容・施設設備の満足度、就職先の満足度の調査・分析を行い、9月末までに報告書を作成する（表5）。
- ・「全学生を対象としたGPA、成績分布状況及び進級率の分析」の課題について、前年度の全学生を対象として、GPA、成績分布、進級率に関する調査・分析を行い、9月末までに報告書を作成する（表5）。
- ・「学生生活・学修実態調査」を1～4年の全学生と教員を対象に10月より調査・分析を行い、11月末までに報告書を作成する（表5）。
- ・「入学前学生の特性の分析」の課題について、広報部が2022年度入学生を対象として実施するアンケート調査の一部を利用し、入学の理由などについて調査・分析を行い、11月末までに報告書を作成する（表5）。
- ・「入学生の入試種別と1年前期試験結果の分析」の課題について、2022年度入学生

を対象に調査・分析を実施し、11月末までに報告書を作成する（表5）。

- ・遠隔授業に関する調査と分析について、必要に応じて協力する。
- ・IR活動の2022年度の実施状況について、IR活動の方針（表1）と2022年度計画から点検し、必要に応じてIR活動の方針を見直し、2023年度計画を策定する。

表1. IR推進センターのIR活動の方針

2022年3月1日
藤田医科大学 IR推進センターのIR活動の方針
藤田医科大学 IR推進センター
「藤田医科大学 IR推進センター規程」第10条に基づき、藤田医科大学 IR推進センターによる学習時間・教育の成果等に係る情報の収集・分析・報告（以下、IR活動）の方針を定める。
IR活動の方針としては、次の通りとする。
(1) IR活動は年度計画を策定し、年度計画に沿って実施する。
(2) IR活動はPDCAサイクルへの情報提供を想定する。
(3) 学部IR分室でのIR活動の結果はIR推進センターで検討する。
(4) 学部IR分室でのIR活動の結果は、原則として学部での検討を求める。
(5) IR活動の結果はできるだけ報告書にまとめ、可能な範囲で公表する。
(6) 結果の検討から必要性が低いと判断されたIR活動は、縮小または中止する。
(7) 特別な事項（「私立大学等改革総合支援事業」、「教育の質に係る客観的指標（私立大学等経常費補助金の交付申請に係る資料）」など）に係るIR活動では、上記（1）～（6）をできるだけ遵守する。

表 2. IR 推進センターの IR 活動の 2022 年度計画
 (医学部、医療科学部と保健衛生学部の IR 活動を除く)

	課題名	対象者	収集方法	収集情報の主な内容	分析の主なねらい	実施時期	形式	公表	特記事項
1	授業科目別達成度自己評価平均値集計表	1～4学年 (前年度)	アセスメンター	各科目の到達度	必要に応じて分析を行う。	10月末に完了	資料	一般	
2	学生による授業評価の集計結果	全学生 (前年度)	アセスメンター	各科目の評価	必要に応じて分析を行う。	10月末に完了	資料	一般	
3	国家試験または認定試験の合格者数及び合格率	卒業生	記録	国家試験等の合格率	年次推移を観察し、必要に応じて分析を行う。	10月末に完了	資料	一般	資料の作成は、学部・学科が担当する。
4	就職率	卒業生	記録 (学校基本調査回答)	就職率(文科省の取扱いに準拠)	年次推移を観察し、必要に応じて分析を行う。	10月末に完了	資料	一般	資料の作成は、学部・学科が担当する。
5	IR活動のパンフレット	全学生 (前年度)	記録	学生生活・学修実態調査など、過去の調査・分析の主な結果。	2022年度版の周知を図り、その改善を検討した上で2023年版を作成する。	2023年版の作成は3月末に完了	資料	一般	

表 3. 医学部 IR 分室の 2022 年度計画

	課題名	対象者	収集方法	収集情報の主な内容	分析の主なねらい	実施時期	形式	公表	特記事項
1	卒業生を対象とした卒業コンピテンス・コンピテンシー自己評価	2021・2022年度卒業認定者	調査	卒業コンピテンス・コンピテンシー修得状況	6年生(卒業認定者)を対象に医学部卒業コンピテンス・コンピテンシー修得度の自己評価を把握し、今後の教育改善や学修指導に資する資料を得る。	2021年度卒業生:2022年2月 2022年度卒業生:2023年2月	報告書	一般	2021年度卒業認定者に関する報告書は2022年4月末までに作成。2022年度卒業認定者に関する報告書は2023年4月末までに作成
2	卒業生を対象とした卒業後アンケート	2021年度卒業生(研修医1年目)	調査	教育内容・施設設備の満足度	卒業生に本学でのカリキュラムや施設設備を振り返ってもらい様々な面からの満足度を把握し、教育活動の充実発展に資する資料を得る。	6月～8月	報告書	一般	9月末までに報告書作成
3	就職先アンケート	2021年度卒業生(研修医1年目)の初期研修先病院の指導者	調査	卒業コンピテンス・コンピテンシー修得状況	卒業生の卒業コンピテンス・コンピテンシー修得度を初期研修先病院指導者の客観的な評価により把握し、今後の教育改善や学修指導に資する資料を得る。	6月～8月	報告書	一般	9月末までに報告書作成
4	学生生活・学修実態調査	医学部全学生と教員	調査	学生生活と学修の全般	学生の生活および学修の実態について学生の自己評価と教員の認識を把握し、教育環境や学修指導の改善に資する資料を得る。	10月	報告書	一般	12月末までに報告書作成
5	入学前学生の特性の分析	2022年度入学生	調査	入学の理由等	学務課・庶務課、および、広報部によるアンケート調査内容を用いて新入生の入学前の基本情報を分析し、今後の入試・教育改善や学修指導に資する資料を得る。	4月	報告書	一般/ 学内	12月末までに報告書作成
6	入試区分別成績分布および進級率等の分析	2011年度以降入学生	記録	入試区分・成績・留年・休学・退学・国家試験結果	入試区分・成績と入学後の成績、国家試験結果、留年・休学・退学の関連を分析することにより、入試方法の改善に資する資料を得る。	4月～10月	報告書	学内	12月末までに報告書作成

表 4. 医療科学部 IR 分室の 2022 年度計画

	課題名	対象者	収集方法	収集情報の主な内容	分析の主なねらい	実施時期	形式	公表	特記事項
1	卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査(学生自己評価)	2021年度卒業生(卒業時)	調査	DP到達度	4年生(卒業認定者)を対象に学部及び学科のディプロマ・ポリシーに対する到達度に対する学生評価について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	1～2月	報告書	一般	5月末までに報告書作成完了
2	卒業生を対象とした動向追跡調査分析	2018年度入学生(2021年度卒業生)	記録	入試、留年・休学・退学、成績、欠席	入学時からの動向追跡調査を行い、留年、休退学、成績等に関する分析を行い、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	4月	報告書	学内	8月末までに報告書作成完了
3	卒業生を対象とした卒業後アンケート	卒業生	調査	教育内容・施設設備の満足度、就職先の満足度	学部の教育や学生支援などに関する諸データの統合分析を行い、教育活動の充実発展に資する資料を得る。	7～9月	報告書	一般	9月末までに報告書作成完了
4	卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査(就職先評価)	就職先	調査	DP到達度	卒業生について学部及び学科のディプロマ・ポリシーに対する到達度に対する就職先における評価について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	7～9月	報告書	一般	12月末までに報告書作成完了
5	全学生を対象としたGPA、成績分布状況及び進級率の分析	全学生(前年度)	記録	GPA、進級・留年・休学・退学	在校生のGPA、成績分布、進級率に関する分析を行い、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	8月	報告書	一般	9月末までに報告書作成完了
6	学生生活・学修実態調査	1～4学年	調査	学修と生活の全般	学生の生活及び学習の実態について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	10月	報告書	一般	11月末までに報告書作成完了
7	入学前学生の特性の分析	新入生(入学時)	調査	入学の理由等	広報部によるアンケート調査内容を用いて新入生の入学前の基本情報を分析し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	10月	報告書	一般/学内	11月末までに報告書作成完了
8	入学生の入試種別と1年前期試験結果の分析	新入生	記録	入試、成績	新入生の入試種別と1年前期試験成績との関連を分析し、今後の入試種別・内容について検討する基礎資料を得る。	10月	報告書	学内	11月末までに報告書作成完了

表 5. 保健衛生学部 IR 分室の 2022 年度計画

	課題名	対象者	収集方法	収集情報の主な内容	分析の主なねらい	実施時期	形式	公表	特記事項
1	卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査(学生自己評価)	2021年度卒業生(卒業時)	調査	DP到達度	4年生(卒業認定者)を対象に学部及び学科のディプロマ・ポリシーに対する到達度に対する学生評価について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	1～2月	報告書	一般	5月末までに報告書作成完了
2	卒業生を対象とした動向追跡調査分析	2018年度入学生(2021年度卒業生)	記録	入試、留年・休学・退学、成績、欠席	入学時からの動向追跡調査を行い、留年、休退学、成績等に関する分析を行い、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	4月	報告書	学内	8月末までに報告書作成完了
3	卒業生を対象とした卒業後アンケート	卒業生	調査	教育内容・施設設備の満足度、就職先の満足度	学部の教育や学生支援などに関する諸データの統合分析を行い、教育活動の充実発展に資する資料を得る。	7～9月	報告書	一般	9月末までに報告書作成完了
4	卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査(就職先評価)	就職先	調査	DP到達度	卒業生について学部及び学科のディプロマ・ポリシーに対する到達度に対する就職先における評価について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	7～9月	報告書	一般	12月末までに報告書作成完了
5	全学生を対象とした GPA、成績分布状況及び進級率の分析	全学生(前年度)	記録	GPA、進級・留年・休学・退学	在校生のGPA、成績分布、進級率に関する分析を行い、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	8月	報告書	一般	9月末までに報告書作成完了
6	学生生活・学修実態調査	1～4学年	調査	学修と生活の全般	学生の生活及び学習の実態について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	10月	報告書	一般	11月末までに報告書作成完了
7	入学前学生の特性の分析	新入生(入学時)	調査	入学の理由等	広報部によるアンケート調査内容を用いて新入生の入学前の基本情報を分析し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	10月	報告書	一般/学内	11月末までに報告書作成完了
8	入学生の入試種別と1年前期試験結果の分析	新入生	記録	入試、成績	新入生の入試種別と1年前期試験成績との関連を分析し、今後の入試種別・内容について検討する基礎資料を得る。	10月	報告書	学内	11月末までに報告書作成完了